

あわら 市議会だより



第44号

平成27年4月15日 発行



Contents

3月定例会報告	2p
委員会報告	4p
一般質問	8p
激励・協賛金一覧	11p
議会トピックス	12p
請願・意見書	13p
討論	14p
議案と結果	15p
ふるさと探訪	16p

漫画「ちはやふる」で有名になったレンゴー株の桜並木です。

今年は季節ごとに「ちはやふる」関連のイベントを企画しています。

議会がインターネットで視聴できます。

[あわら市議会インターネット中継](#)

[検索](#)

3月定例会

平成27年度一般会計予算成立

歳入歳出 133億4,000万円に

会計名		予算額	前年度比較(%)
一般会計		133億 4,000万円	△7.0
特別会計	国民健康保険	33億 7,520万円	9.5
	後期高齢者医療	2億 9,650万円	1.5
	産業団地整備事業	380万円	△1.7
	農業者労働災害共済	500万円	△1.7
	水道事業	10億 6,902万円	△31.7
	工業用水道事業	1,130万円	△2.2
	公共下水道事業	25億 2,364万円	2.3
	農業集落排水事業	1億 763万円	△0.8
芦原温泉上水道財産区水道事業		2億 1,274万円	3.3
合計		209億 4,483万円	△5.2

<地方債及び基金・積立金の状況>

地方債残高(市の借金)	
平成26年度末 見込	
一般会計	180億 2,035万円
公共下水道会計	115億 5,319万円
水道事業会計	18億 5,831万円
農業集落排水事業会計	4億 1,845万円
合計	318億 5,030万円

基金・積立金残高(市の貯金)	
平成26年度末 見込	
財政調整基金	28億 400万円
地域振興基金	13億 0円
その他	8億 8,665万円
※一般会計所管 計	49億 9,065万円
国民健康保険基金	2億 573万円
農業者労働災害共済基金	3,419万円
※特別会計所管 計	2億 3,992万円
合計	52億 3,057万円

市民1人当りの借金 約108万6千円

※ 1人当たりの借金・貯金の算定基準
平成27.2.1現在の人口 29,330人

市民1人当りの貯金 約17万8千円

平成27年3月定例会が2月27日から3月19日までの会期で開催されました。
今定例会では、平成26年度補正予算と平成27年度当初予算に関する17議案、条例の新規制定、改正及び廃止に関する7議案、事務の受託に関する1議案、規約の変更に関する1議案、市道路線の認定に関する1議案、公の施設の指定管理者の指定に関する3議案、人事に関する1議案の計31議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。
なお、今回は5名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願3件を不採択とし、議員発議により条例の改正1件を可決しました。

3月定例会

平成26年度一般会計補正予算

3億4,479万3千円を減額



本荘こども園入園式(4月3日)

- 平成26年度一般会計予算総額は150億1,536万2千円に
- 社会福祉センター及び勤労青少年ホームを廃止
- あわら市プレミアム付き商品券 2億3,900万円分 7月に発売
- 金津本陣にぎわい広場 あわら市商工会を指定管理者に指定
- 人権擁護委員 西田哲章 氏の推薦に同意

12月19日	広報編集特別委員会
22日	広報編集特別委員会
26日	総務文教常任委員会
1月5日	広報編集特別委員会
7日	総務文教常任委員会
23日	議会運営委員会
	全員協議会
	第75回議会臨時会
2月16日	厚生経済常任委員会協議会
20日	議会運営委員会
	全員協議会
27日	第76回議会定例会 開会
3月3日	厚生経済常任委員会(県境の館)
5日	第76回議会定例会一般質問
	広報編集特別委員会
6日	総務文教常任委員会
9日	総務文教常任委員会
11日	厚生経済常任委員会
12日	厚生経済常任委員会
13日	厚生経済常任委員会
18日	議会運営委員会
19日	全員協議会
	第76回議会定例会 閉会

議会日誌 おもな会議のみ掲載

総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成26年度
一般会計補正予算

■政策課

温泉情緒あふれる
華やきの街づくり
事業 1億1千725
万円減額

委員 国からの交付金が当初計画の約53%しか交付されなかった。よって、事業を翌年度以降に先送りするようだが、計画どおり全ての事業を実施できるのか。
理事者 社会資本整備総合交付金事業の最終年

度にあたる平成29年度までには、全額交付されると国から聞いている。

もし、交付金が削減された場合は、一般財源等で補てんするのではなく、計画変更で対応したい。

平成27年度
一般会計予算

■総務課

旧芦原消防署庁舎
改修費
2千800万円

委員 旧芦原消防署庁舎を2つの消防分団の詰所にするのだが、毎日使用するわけでもないのに、簡易な改修にできないのか。
理事者 2分団の備品管理のため、入口を二つに分ける必要がある。漏水等も発生しているので、



旧芦原消防署庁舎と訓練棟

防犯灯設置事業
補助金
1千500万円

委員 防犯等設置事業補助金は、29年度以降は補助率を元の1/3に戻すとのことだが、補助率1/2を継続すべきではないか。
理事者 LED防犯灯設置を促進するため、28年度まで補助率1/2を適

本荘公民館備品
購入費
1千500万円

■文化学習課

委員 今まで使っていた備品もあるはずであるが、1千500万円の内容は、理事者 本荘公民館を改築したが、和室から洋会議室へと転換が図られた。今まで使っていた備品に加え、机やイス等を購入するものである。購入予定の備品は、他の公民館で

■文化学習課

金津幼稚園改修工事
650万円



建築中の本荘公民館

も揃っているものであり、他の公民館並みになるよう整備したい。

委員 金津幼稚園を改修し、子どもクラブ用施設にするとのことであるが、子どもたちの安全を考え、古町子どもクラブと中央子どもクラブを統合してはどうか。

理事者 学年や地域で区分けする方法や一つに統合することも考えられるが、どれだけの利用があ



市民体育祭の様子

理事者 体育協会の役員会においても協議しているが、一人でも多くの市民に参加してもらおう。大会となるよう、参加しやすい競技等に変更を加えながら継続していきたいと考えている。

■スポーツ課

市民体育祭

委員 市民体育祭は、参加する市民に限られている。市民体育祭を打ち切り、地区体育祭を支援するようにしてはどうか。

社会福祉センター
条例及び勤労青少年
ホーム条例の廃止

委員 勤労青少年ホームは廃止しても、体育館は残すべきではないか。

理事者 中央公民館を改修したことに伴い、それぞれの施設機能を中央公民館で補うことができるようになったため、老朽化した社会福祉センター



勤労青少年ホームの体育館

及び勤労青少年ホームの用途を廃止するものである。

委員 体育館を存続させるため成28年10月に全国中学校体育大会が福井県で開催されるため、部活動の練習に利用したいとの要望があり、それまでは残したいと考えている。

議案外の件 学校給食

市民から様々な意見があることから、3月6日、学校給食センターで試食を行いました。試食の結果は、栄養バランスも良く、とてもおいしい給食であり、全委員が満足できるものでした。



学校給食

厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成26年度
一般会計補正予算

■建設課

**地方道路交付金事業
(千束・赤尾線)
2千732万2千円
減額**
**社会資本整備総合
交付金事業(石塚橋)
610万円減額**

委員 国の交付金が減額されたため減額補正を行っている。千束・赤尾線は27年度の完成、石塚橋については、国道8



市道千束・赤尾線



石塚橋

号バイパスの供用開始に合わせて完成するのか。
理事者 千束・赤尾線は、市としては27年度中の完成をめざしている。石塚橋については、出水時期に工事ができない事もあり、当初から3年ぐらゐの期間を見込んでいる。

第二配水池、第三配水池については柵が無いため、侵入防止、転落防止の柵を設置し、監視業務を含めた安全管理を行う。しかし、第一配水池は、安全柵の設置など、費用対効果を考えた場合、休止しても配水に支障がないことから、更新を行わない。

平成27年度
一般会計予算

■子育て支援課

**私立認定こども園
運営事業**

委員 各園において地代に差があり、いずれは経営の重荷になるのではないか。
理事者 私有地は、地主との関係があり地代の交渉が難しい。地価は、流

動性があるので、下がった時は対応したい。こども園は今後も公平な形で支援していきたい。

健康長寿課
**複合福祉施設3階
改修計画業務委託料
55万円**
委員 どのような業務なのか。
理事者 当委員会でも老人福祉施設のあり方の結論を27年6月定例会までに出すことになっている。一定の方向性を見出すための業務委託である。

■観光商工課

**芦原温泉芸妓協同
組合補助金
270万円**

委員 27年度はあわらし温泉開湯130周年のイベ

ントがあり、芸妓をもっと活用すべきではないか。
理事者 芸妓協同組合は観光協会を通じてあわらし温泉のPRを行っており、今後も継続してPRをお願いしていく。



芸妓協同組合 新春舞踊

**あわらし温泉開湯
130周年祭事業
補助金 1千万円**

委員 130周年祭は、市の補助に加え、旅館組合負担金を含め総額2千万円にもなる大きなイベントである。実行委員

会の会計だが、透明性を高め、適正な執行を要請する。
理事者 実行委員会の事務局は観光商工課内に置く。適切なイベントとなるよう、万全を期したい。

■農林水産課

**有害鳥獣駆除事業
506万2千円**

委員 イノシシの被害は、丘陵地まで及んでいる。対策が甘すぎるのではないかと。もっとしっかりとした対策を講じるべきである。
理事者 イノシシを捕獲すると一頭当たり3千円を補助する新制度を創設した。更には、駆除したイノシシの焼却に対する予算も計上しており、積極的な捕獲を見据えている。26年度の捕獲実績としては155頭であり、過去最高の捕獲数であった。



大型コンバインによる稲刈り

**農業振興経費
(水田農業)**

委員 水田農業についてはほとんどの生産組合は赤字であり、先行きが不安である。今後の農業について、後継者問題を含め、市からも指導・支援を行うべきである。
理事者 各集落営農組織や認定農業者に不安があることは、把握している。

■建設課

**道路橋りょう維持
管理・公園管理**

最終的には農事組合法人型の集落営農か、株式会社化した農業生産法人に分かれるものと考えられる。今後はPPPの情勢をみながら、柔軟に考えていきたい。

**芦原温泉駅周辺
整備事業
1億5千100万円**

委員 土地購入費で8千500万円を計上しているが、用地交渉の進捗はどうなっているのか。
理事者 市道105号線は、地権者2人の内1人は交渉が成立している。今後、残り1人と交渉がまとまるよう、粘り強く交渉していきたい。

**公の施設の指定
管理者の指定**

**あわらし夢べるま公園
200万円**



金津本陣にぎわい広場とaキューブ

**金津本陣にぎわい広場
630万円**
**越前加賀県境の館
340万円**
委員 今回の指定管理は、全て新設の施設であるが、予算の範囲内で運営ができるのか。
理事者 指定管理の制度上、指定管理者を募る場合、大よその費用を算出している。新設の施設

であるが、通年の経費が分からない中、試算金額を超えても補償はしない。今回は通常の管理経費を計上しており、大幅な余剰金が出た場合は、次年度に反映させていく。

市政について問う!

3月の定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



- 三上 薫 議員
 - ふるさと納税について
 - 農業人材の確保・育成について



- 山本 篤 議員
 - 北陸新幹線金沢駅開業と福井駅延伸計画について
 - 公民館活動の現状とこれからのあり方について



- 山川 知一郎 議員
 - 農業振興対策について
 - サッカー場建設中止を
 - 要支援1・2の介護サービスについて



- 八木 秀雄 議員
 - 観光振興全般について



- 卯目 ひろみ 議員
 - 認知症対策について



ふるさと納税

三上 薫 議員

ふるさと納税による寄付金は、純然たる市の増収であり、歳入確保の面からも寄付が増加するよう努力するべきである。そこで、寄付しやすい環境を整えるべきではないか。

市長 現在、ふるさと納税のPRとして、利用者がよく閲覧する「ふるさとチョイス」というホームページを始め、民間事業者が運営するホームページに掲載するとともに、ふるさと納税を特集する雑誌等にも積極的に情報を提供



施設園芸の様子(越のルビー)

しているところです。

総務部長 現在の寄付金納付は、郵便振込か窓口での現金納付ですが、平成27年度からはクレジットカードによる納付もできるようにする予定です。

農業人材の確保・育成について

三上 薫 議員

現在の農業は、後継者不足という課題を抱えている。新規就農者を募集し、農業経営の継承を支援してはどうか。

市長 第三者継承の促進ですが、水田については、農地中間管理事業の受け手として応募した、意欲ある担い手へと継承していくことが、適切であると考えています。

坂井北部丘陵地については、「園芸カレッジ」に入校し、新規就農を目指す研修生を、農業を廃業または規模の小を考えている農家とマッチングさせ、農地中間管理事業と併せて支援したいと考えています。



北陸新幹線金沢駅開業と福井駅延伸計画について

山本 篤 議員

金沢駅開業までの準備に費やした総額と手ごたえは。

市長 「温泉情緒あふれる華やきのまちづくり事業」に約8億5千万円、「金津本陣にぎわいづくりプロジェクト」に1億7千万円を予定している。ソフト事業は約5千300万円を投じており、期待以上の成果が表れてきていると思っています。

山本 篤 議員 福井駅延伸までの問題は。

市長 いくつかの課題があり、事業主体の鉄道・

運輸機構や県と十分に連携をとり、地権者や関係者等の理解と協力が得られるように努めていきます。

山本 篤 議員 在来線のあり方について、これからのように進めて行くのか。

市長 福井県並行在来線対策協議会において、先行事例の調査研究、並行在来線に関する広報活動を行ってまいります。開業3年前頃に経営計画案の策定を行い、開業2年前頃に第3セクターを設立する事になっています。利用者の利便性確保を第一としたダイヤ編成が協議されるものと考えています。

公民館活動の現状とこれからのあり方について

山本 篤 議員 社会教育の中での位置づけを踏まえ、どう考えているのか。

教育長 館長及び主事を配置して教養の向上、健康増進、文化振興、福祉の増進を目的に、各種講座やクラブ活動による多様な学習機会を提供することはもちろんですが、公民館が地域づくりの拠点施設として、地域の人づくり・絆づくりにより主体的に取り組んでいくことが重要であると考えています。

山本 篤 議員 これからの公民館は、どうあるべきと考えるか。

教育長 公民館を核とした地域づくりの有効性を考え「コミュニティセンター」方式がいいのか、将来にわたり、防災・福祉・健康といった行政分野と、教育面が融合した本市独自の公民館による地域づくりがいいのかは、他市や地域の動向を見ながら判断していきます。

公民館活動の現状とこれからのあり方について



山川 知一郎 議員

農業振興対策を

山川 昨年の米価暴落と国の直接支払交付金半減により、多くの農家、特に集落営農組織は深刻な経営危機に直面している。

国に対して、再生産可能な米価を保障するよう強く求めるとともに、実態を調査し、市として独自の支援をすべきではないか。

市長 市が直接的に米価の支えを行うことは困難ですが、27年度において周年作促進補助金を創設し、大豆・そばの作付け拡大に対して奨励金を交付したいと考えています。

サッカー場 建設中止を

山川 菅野地区に、6億5千万円をかけてフットボールセンターを建設することであるが、市の負担は5億5千万円。完成後の維持管理にも毎年約450万円の支出が見込まれている。市の財政状況を考えると無謀であり、建設中止を求める。

教育長

フットボールセンター建設は、スポーツ振興に寄与するとともに、スポーツ合宿などにより、年間約1億円の経済効果が見込まれ、あわら市の活性化につながると考えています。



フットボールセンター建設候補地(菅野)

要支援1・2の介護サービスについて

山川 要支援1・2の方のデイサービスとホームヘルパー利用が介護保険から外されるとのことであるが、継続して安心したサービスを受けることができるのか。

市民福祉部長

要支援1・2の方へのサービスは、平成29年4月から、「新しい総合事業」として、市の事業に移行する予定ですが、移行後も現在のサービスが利用できるようにしていきたいと考えています。

観光振興全般

八木 あわら市の魅力を発信するために様々な観光宣伝を行っているが、その内容と成果はどうなっているのか。



八木 秀雄 議員

経済産業部長

観光の特徴的な事業として、田中光敏監督に、プロモーションCMや観光プロモーションビデオの制作を依頼したところであり、情報発信力の強化につながるものと考えています。



越前加賀県境の館

八木 越前加賀県境の館をどのように活用するのか。

勝山フェアを開催し、首都圏の旅行事業者等に本市の観光と食の魅力をも十分に伝えることができたものと考えています。

なお、JR芦原温泉駅に、ちはやふるオリジナル大型看板を設置し、本市を訪れた多くの観光客に「ちはやふるの聖地」をアピールすることにより、市のイメージアップを図られたと考えています。

市としては、地元住民や各種団体と密着連携した管理運営がなされ、両市はもとより宗教文化街道協議会を構成する市、町を含む広域的な観光情報が発信されるものと期待しています。



卯目 ひろみ 議員

認知症対策

卯目 認知症が増加傾向と聞くと、実態はどうなのか。

市民福祉部長

昨年の調査では、あわら市の高齢者の7人に1人が認知症になっています。卯目 認知症を正しく理解している人は少ないため、地域ぐるみで支える輪を広げるべきと考えますが、市ではどのような取り組みを行っているのか。

また、子ども向けの取り組みは行っているのか。

市民福祉部長 認知症予防は、本人やその家



近所で道に迷う(失認) 物の使い方がわからない(失行)

族だけではなく、地域社会全体の問題であると考えています。各公民館等で、介護予防教室やサロン事業などを行っています。また、本年度からは、早期に認知症を発見するため、要介護認定者を除く65歳以上の方に問診票を活用したチェックリスト形式の検診も実施しています。

よって、金津小学校6年生を対象とした認知症講座を開催しています。大変反応が良かったため、今後、他校においても開催したいと考えています。卯目 徘徊者の発見につながる福岡県の「大牟田方式」と言われるメールを利用した市民レベルの取り組みを本市で導入することはできないか。

市民福祉部長

本市においても、市、警察、福祉団体、配達業者などが連携して徘徊者を見つけた場合、メール等で連絡を取り合う「見守り体制づくり」の構築に向け、関係機関と協議を行っています。

議員会 激励費・協賛金一覧

あわら市議会議員会は、青少年の育成を目的に、小中学生がスポーツ等で全国大会に出場した場合、内規に基づき激励費を支出しています。また、地域の活性化を図る観点から、各種協賛金も支出しています。平成26年度の激励費・協賛金一覧を掲載します。

Table with 3 columns: 月 (Month), 激励費・協賛金の内容 (Content of Incentive/Contribution), 金額 (Amount). Rows include items like 'Green Fundraising' (9,000), 'Awarashi Sports Association' (18,000), and 'National Junior Badminton' (5,000), totaling 486,000.

議会トピックス

加賀市議会・あわら市議会友好交流議員連盟を設立

2月2日、加賀市役所において、加賀市議会・あわら市議会の有志議員による友好議員連盟の設立総会を宮元加賀市長及び橋本あわら市長をお迎えし、開催しました。

交通網整備や観光誘客など共通する行政課題の解決に連携して取り組むことを目的としています。具体的には、国道8号の4車線化や北陸新幹線の早期延伸に向けた国への陳情活動を連携して行うほか、温泉地という共通の地域資源の広域的なPRをともに進めていくものです。



(左から宮元加賀市長、高辻加賀市議会議長、笹原あわら市議会議長、橋本あわら市長)

以下、設立宣言書を掲載します。

加賀市議会・あわら市議会友好交流議員連盟 設立宣言書

石川県加賀市と福井県あわら市は、県境を挟み隣接する市として、古くから歴史・文化の両面において深い繋がりを有しています。そしてその繋がりは、現在に至るまで脈々と引き継がれており、さらに、近世においては、通勤・通学をはじめ、経済活動における人的往来も盛んです。また、互いに天与の温泉を有し、その恵みを市民が享受するとともに、観光誘客の重要な魅力の一つとなっていることも、両市の大きな共通点であります。

このような状況において、両市の主要幹線道路である国道8号の4車線化の推進をはじめ、平成27年3月14日の北陸新幹線金沢開業、さらには当初予定を3年前倒しし、平成34年度の予定となった敦賀開業など、現在のみならず、将来にわたっての大きな変革を見据え、首都圏からの観光客誘致の更なる推進をはじめとした交流人口の拡大等、両市の市勢伸展を左右するような重要行政課題への早急な対応が求められています。

こうした状況に鑑み、我々両市議会は、二元代表制の一翼を担う機関として、より一層連携を深めるとともに、両市における共通の行政課題に対する認識を同じくし、執行機関に対してより有効な政策提言を行うことはもちろん、両市議会の力を結集して、共通の行政課題の解決に向け、積極的に要望・陳情活動を展開する必要があります。

については、加賀市議会とあわら市議会は、多様な角度から、まちづくりをはじめとする種々の行政課題を共同で調査・研究し、政策提言を実現するためのネットワークを構築することを目的に、ここに「加賀市議会・あわら市議会友好交流議員連盟」を設立いたします。

請願・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●政府に米価対策に関する意見書提出を求める請願

「要旨」

米価の暴落は、地域農業の維持や農村集落に深刻な影響をもたらし、日本の食料自給率の低下を招く恐れがある。

よって、政府は米穀の受給調整を直ちに行い、農家の経営安定対策を取るよう強く求める。

「提出者」 福井県農民連

会長 玉村 正夫

「結果」 不採択

「不採択理由」

確かに縮減・廃止された制度があるが、政府は収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）をはじめとする様々な対策を行っている。

「賛成討論」

昨年の米価暴落と「コメ直接支払交付金」の半減等により、農家、特に集落営農組織の経営は危機的状況にあり、国がコメの需給調整に乗り出し、再生産可能な米価を保障するとともに、「コメ直接支払交付金」の半減と「米価変動補填交付金」の廃止を撤回し、農家の経営安定を図るべきである。

●TPP交渉に関する請願

「要旨」

TPPは農林漁業への甚大な影響のみならず、食の安全、医療制度、保険など国民生活に広く影響を及ぼす。

よって、TPP交渉に関する国会決議を順守し、守れない場合は、交渉から撤退するよう強く求める。

「提出者」 福井県農民連

会長 玉村 正夫

「結果」 不採択

「不採択理由」

今現在、政府も慎重に交渉を進めており、しばらく動向を見守るべきであり、現段階での交渉撤退はできない。

「賛成討論」

TPPに参加すれば、農林漁業への甚大な影響のみならず、食の安全が脅かされ、医療・金融・保険など国民生活に広く影響を及ぼす。また、SD条項が発動されれば、国家主権が脅かされる恐れもある。

よって、農産品5品目の関税撤廃を除外するなどの国益を守れない場合は、TPP交渉から撤退すべきである。

●高浜原子力発電所3号機・4号機の再稼働を認めない意見書採択を求める請願

「要旨」

原子力規制委員会は、高浜原発3・4号機が再稼働に必要な安全対策が新規基準に適合していると了承した。しかし、新基準に適合しても「ゼロリスク」ではなく、絶対安全が保障されているわけではない。

よって、国民の安全を守るために、高浜原発3・4号機の再稼働を認めないよう求める。

「提出者」 原発を考えるあわら市民の会

世話人代表 中野 充

「結果」 不採択

原発の再稼働については、国や県、更には立地市町の意向を尊重するべきである。高浜町議会においては、「早期再稼働を国に求める意見書」を国に提出している。

「不採択理由」

昨年5月、福井地裁において「福島のような事故が絶対に起こらないという保証はなく、原発を運転してはならない」との判決を下している。よって、高浜原発3・4号機は再稼働すべきではない。

「賛成討論」



高浜原子力発電所

平成27年1月 第75回あわら市議会臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

Table with 15 columns for council members and 1 row for '財産の取得について(スクールバス)'. Legend: ○賛成, X反対, -欠席等. ※議長(菅原幸信)は採決に加わらないので「/」で表示.

平成27年3月 第76回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

Large table with 15 columns for council members and multiple rows for various budget items and resolutions. Legend: ○賛成, X反対, -欠席等. ※議長(菅原幸信)は採決に加わらないので「/」で表示.

討論 平成26年度一般会計補正予算(第6号)

繰越明許費として、フットボールセンター整備事業、2,649万円が計上されている。整備試算総額が6億5千万円、毎年借地料だけで680万円が必要となるこの事業に、早く終止符を打つべきである。また、国の社会資本整備総合交付金事業の、交付決定額の減額によって、「温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業」の、1億1,725万円の減額補正が計上されている。「見通しの甘さ」、「試算の甘さ」が露呈した。そもそも、市民が望んで行われた事業ではなく、補助金目当てだけで行われたこの事業だけに、早めに計画変更を申し出、事業を圧縮して行うべきだ。



平成27年度 一般会計予算

セントピアあわらの管理経費として、3,200万円が計上されており、このうち、3,096万円が、書類送検された企業への指定管理料である。指定管理者の公募に際し、この企業が提示した、「まちづくりへの参画」などを全く実施していないのに、「指定管理者」として継続することは同意できない。新幹線建設負担金や関連事業費、「県境の館」維持管理費など、税金の無駄遣いと思われるものが含まれている。子育て・教育支援を拡充すべきであり、特に、中学生のスクールバス利用料JR利用料は無料にすべきである。



教育委員長の廃止に伴う条例の制定

教育委員会制度は、1948年に、教育の政治的中立性、安定性、継続性の確保を目的に、公選によって選ばれた委員の合議体として発足し、独立した権限を持っていた。その後、権限が弱められ、形骸化しているとの批判もあるが、今回、教育委員長を廃止し、首長が任命する教育長をトップにすることは改革に逆行し、教育の政治的中立性などを損なう恐れがあり、認められない。



勤労青少年ホーム条例を廃止する条例の制定

勤労青少年ホームの体育館は金津中学校の部活に使われている。PTAや保護者からは存続の願いが出ている。条例を廃止する前に、体育館存続の問題を議論すべきである。



平成26年度一般会計補正予算(第7号)

国からの緊急経済対策に伴う交付金を活用した事業であるが、映画祭の開催など、思いつきの事業があり、税金の無駄遣いである。



今回の交付金で大切なことは、国が急きょ慌てて創設した交付金であるにもかかわらず、この短期間でよくまとめられたものであり、評価したい。

第8回議会報告会は7月下旬に開催します

例年4月下旬に開催している議会報告会ですが、4月26日に執行される統一地方選挙の関係で、平成27年度当初予算は骨格予算となっており、政策的経費の多くが6月補正予算で追加することが予想されます。よって、補正予算の内容を含め報告した方が良いと考え、6月定例会後の7月下旬に議会報告会を開催することにいたしました。

詳細な日程は次回の市議会だよりでお知らせしますので、議会報告会へのご来場を心からお待ちしております。

ふるさと探訪

「国鉄三国線」

明治44年12月15日に国鉄三国線が開通し、60年という長い間、地域住民の足として活躍し、親しまれてきた国鉄三国線は、昭和47年2月29日運命の日を迎えました。時の流れには逆らえず、廃線ということでした。当日は、金津・芦原の両駅で廃線を記念し「さよなら列車」などの行事が行われ、ほたるの光が流れる中、両町の保育園児や小学生が最後の乗車をしました。

長い歴史の中には、昭和31年の芦原大火の時、駅に停車していた蒸気機関車の汽笛で住民に火災を知らせたと伝えられています。また、国鉄において区間が全国で一番短い三国線は、機関車一両・客車一両といういでたちから、マツチ箱列車とも呼ばれていました。当時は、あわら温泉に行くための主要な交通機関であり、特に関西方面から多くの人々が乗車しました。

現在のJR芦原温泉駅1番ホームから、西側を見ると「ちはやふる」の看板があり、その手前には今もなお0番ホームとレールがあります。昔の面影を後世に伝えるため、いつまでも歴史遺産として残してほしいと思います。

(坪田)



JR芦原温泉駅のちはやふるの看板と0番線ホーム

編集後記

卒業式の3月、入学式の4月、出会いと別れのこの季節、人生の節目の中でも、涙を流し、希望と喜びがうずまく季節かもしれません。長年続けてきた仕事と、別れを告げる季節でもあります。この3月、あわら市でも部長級3人の方が退職され、新たなスタートを切られました。

議員会主催の送別会では、自治体職員として体験した数々の思い出を語られ、改めて、今のあわら市があるのは、多くの先輩方のご尽力があったことを再認識しました。「公共の精神」という言葉があります。「自分が得たものを、社会に還元していこう」というこの精神は、教育の基本であり、先生から生徒へ、先輩から後輩へ、そして過去から未来へ、伝えなければいけないものが、たくさんあるのです。

(山本)

編集・発行責任者
議長 笹原幸信

市議会広報編集特別委員会
委員長 坪田正武
副委員長 山本知一郎
委員 山本篤郎
委員 山本純夫
委員 毛野時夫
委員 山利重喜
委員 卯目ひろみ

発行 あわら市議会
◆市民に親しまれる、市議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。
〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp